

TOPICS.1

第23回 定時株主総会開催

去る6月16日(金)、信金中央金庫北海道支店において、当社の株主である道内全20金庫のご出席(委任状出席1金庫含)をいただき、第23回定時株主総会を開催いたしました。

当日は、第22期(2022年度)事業報告の後、第1号議案の貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件など全3議案について審議、全て原案通り承認されました。
なお、会議に先立ち、武田社長から次のとおりご挨拶がございました。



挨拶内容

本日は、各金庫総代会でお忙しい中ご出席いただき誠に有難うございます。

昨年の総会時も、ウクライナ侵攻が長引き北朝鮮がミサイル発射を繰り返しているという、混迷を極める世の中の話をしておりましたが、あれから1年も経って状況は何も変わっておらず、世界情勢は今後を憂う話ばかりのような気がします。

新型コロナ感染については分類変更もされ、漸く落ち着きを見せ、雰囲気としてはコロナ禍前の日常にほぼ戻った感はあると思います。訪日外国人観光客も急増し、一人当たりの消費額も思いのほか増加しているとの調査機関の報告も目にし、インバウンド需要が少しでも冷え込んだ日本経済にプラスの効果をもたらすことを願っております。

このように、日常の大部分ではコロナ禍前の状況に戻ったとは思いますが、以前から申しておりますとおり、特にビジネス面では大手メーカーの働き方そのものが変わってしまったこともあり、コミュニケーションが取りづらくなってしまったことの影響があるのは事実と感じます。

相手は変えられませんので、それであれば自分が変わるしかなく、こちらが慣れて上手に対応するよう過去の拘りを捨てて自ら変化しなくてはならないと思っております。

「変化」といったことで言うと、毎々お話す「デジタル技術の急速な進歩」。例えば、特に最近世の中を急激に賑わせている「チャットGPT」なるものは皆様ご存知と思います。改めて言うまでもなく、AIを使って文章を生成したり、質問に答える高度なチャットサービスですが、これに対する欧米諸国のスタンスと日本のスタンスは今のところズレているところもあり、将来に対してあくまでも個人的には、危惧の念を抱かざる得ません。

システム面より倫理面での懸念であり、もちろん様々な意見を否定するものではありませんが、誤解を恐れず一つだけ個人的な考えを言うならば、便利になることは、その分「人が人として持っている能力を退化させる」ことにも繋がっていると思うので、もちろんその技術の性質にもよりますが、生成AIの中でもこういったチャットGPTのような類のものの濫用は、人間の思考能力を必ず退化させるものだろうと思っております。

特に人の能力でいえば、最近「想像力」と「我慢する力」を極端に欠いた人が非常に多いように感じますが、それは多分こういった時代に、デジタル技術に頼り切った人間が、本来持つべき人間の感性を失っているからなのではないでしょうか。

重要なのは「使い方」だと誰もが言いますが、それも少々綺麗事に聞こえ、それを正しく制御していけないのがまた人間の弱さ、特徴のような気がします。

この挨拶も、きっとチャットGPTが作ればこんな稚拙なものにはならないでしょうし、これより数倍立派な挨拶文を作らざるを得ないでしょうが、それに頼って自分の頭を退化させたくないの、どんな低次元であってもこれからも自分の頭で自分の言葉で考え作っていきたいと思っております。

これからも、デジタル技術は加速的に進歩することは間違いなく、当社はその中から真に良いものを選択する「目利き」の力を備えて信用金庫経営に貢献しなければなりません。

お陰様で昨年度の当社売上は過去最高を記録しましたが、地区のニーズを的確に捉え、ますます安定稼働に努め、引き続き使命を果たすよう尽力してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役
および
監査役

代表取締役会長 伴 道弘 (網走信用金庫理事長)
代表取締役社長 武田 大二郎
常務取締役 池田 達哉
取締役 山田 隆秀 (室蘭信用金庫理事長)
取締役 高橋 常夫 (帯広信用金庫理事長)

取締役 森村 好幸 (釧路信用金庫理事長)
取締役 片山 隆文 (北見信用金庫理事長)
取締役 島田 光隆 (遠軽信用金庫理事長)
監査役 大沼 孝司 (日高信用金庫理事長)
監査役 関谷 忠 (北海道信用金庫協会専務理事)

適格請求書等保存方式の対応について

2023年10月1日から「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」が導入されることに伴い、昨年、適格請求書発行事業者登録を実施し、登録番号を取得いたしました。

当社におきましては、本年4月より適格請求書発行事業者登録番号を付記した「請求書」を「適格請求書」として発行することで、制度対応をしております。

今後とも当社サービスをご利用いただきたく何卒ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

(イメージ)

請 求 書 1/3 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇〇年〇〇月分

〇 〇 信用金庫 御中

ご請求金額 ***,***,*** 円

毎度格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
上記金額をご請求申し上げます。
なお、上記金額は、信金中央金庫北海道支店の貴金庫普通預金口座から自動引落しさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 に

株式会社北海道しんきん情報サービス
登録番号 T8430001027487 印

T060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目8-4番地
HBAシステムビル 4階
TEL 011-233-1212

【請求明細】

品名・規格名	単価(円)	数量	金額(円)	備 考
.....	**,***	** 店舗	*,***,***	
.....	***	*** 枚	***,***	
小計(10%対象額)			***,***,***	
消費税(10%)			***,***,***	
合計			***,***,***	
総 合 計				

発行:株式会社北海道しんきん情報サービス

〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811